

令和7年度  
教科名等

理科 科

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
物理演習	3	A B C	2	自由選択	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	啓林館「総合物理Ⅰ」「総合物理Ⅱ」
使用教材等	

科目の目標

学習目標	<p>【知識及び技能】個々の物理の基礎概念を理解し、力学・熱力学・電磁気学・波動力学の各単元の内容をグラフや式を用いて、定量的に捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】物理の個々の基礎概念を組み合わせ、日常生活に関わる問題など単元を横断した総合的な現象理解について、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自然現象に対して主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。また自己が立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を行うことができる。</p>
------	---

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	<p>A 単元名 力学・波動力学 【知】力学・波動力学の各単元内容についてグラフや式を用いて、定量的に捉えることができる。</p> <p>【思】力学・波動力学における各単元の内容を組み合わせ、日常生活に関わる問題など単元を横断した総合的な現象理解について、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>【態】力学・波動力学分野に関わる現象に対して主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。また自己が立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を行うことができる。</p> <p>B 単元名 波動力学・熱力学・電磁気学 【知】波動力学・熱力学・電磁気学の各単元内容についてグラフや式を用いて、定量的に捉えることができる。</p> <p>【思】波動力学・熱力学・電磁気学における各単元の内容を組み合わせ、日常生活に関わる問題など単元を横断した総合的な現象理解について、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>【態】波動力学・熱力学・電磁気学に関わる現象に対して主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。また自己が立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を行うことができる。</p>	<p>A 私立大学の入試過去問題を用いた力学及び波動分野の演習</p> <p>B 私立大学の入試過去問題を用いた波動力学・熱力学・電磁気学分野の演習</p>	<p>A 単元名 力学・波動力学 【知】力学・波動力学の各単元内容についてグラフや式を用いて、定量的に捉えられている。</p> <p>【思】力学・波動力学における各単元の内容を組み合わせ、日常生活に関わる問題など単元を横断した総合的な現象理解について、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>【態】力学・波動力学分野に関わる現象に対して主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。また自己が立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を行おうとしている。</p> <p>B 単元名 波動力学・熱力学・電磁気学 【知】波動力学・熱力学・電磁気学の各単元内容についてグラフや式を用いて、定量的に捉えられている。</p> <p>【思】波動力学・熱力学・電磁気学における各単元の内容を組み合わせ、日常生活に関わる問題など単元を横断した総合的な現象理解について、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>【態】波動力学・熱力学・電磁気学に関わる現象に対して主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。また自己が立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を行おうとしている。</p>
2	<p>A 単元名 原子・電子 【知】原子・電子の各単元内容についてグラフや式を用いて、定量的に捉えることができる。</p> <p>【思】原子・電子における各単元の内容を組み合わせ、日常生活に関わる問題など単元を横断した総合的な現象理解について、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>【態】原子分野に関わる現象に対して主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。また自己が立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を行うことができる。</p> <p>B 単元名 総合 【知】総合的な問題を分解し、各領域の話題に落とし込みグラフや式を用いて、定量的に捉えることができる。</p> <p>【思】各単元の内容を組み合わせ、日常生活に関わる問題など単元を横断した総合的な現象理解について、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>【態】総合的な現象に対して主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。また自己が立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を行うことができる。</p>	<p>A 私立大学の入試過去問題を用いた原子・電子分野の演習</p> <p>B 私立大学の入試過去問題を用いた全範囲の入試演習</p>	<p>A 単元名 原子・電子 【知】原子・電子の各単元内容についてグラフや式を用いて、定量的に捉えられている。</p> <p>【思】原子・電子における各単元の内容を組み合わせ、日常生活に関わる問題など単元を横断した総合的な現象理解について、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>【態】原子分野に関わる現象に対して主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。また自己が立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を行おうとしている。</p> <p>B 単元名 総合 【知】総合的な問題を分解し、各領域の話題に落とし込みグラフや式を用いて、定量的に捉えられている。</p> <p>【思】各単元の内容を組み合わせ、日常生活に関わる問題など単元を横断した総合的な現象理解について、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>【態】総合的な現象に対して主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うこと。また自己が立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を行おうとしている。</p>
3	<p>A 単元名 総合 【知】個々の物理の基礎概念を理解し、力学・熱力学・電磁気学・波動力学の各単元の内容をグラフや式を用いて、定量的に捉えることができる。大学入試共通テストで8割の得点率を取れるようになることを年間数値目標とする。</p> <p>【思】物理の個々の基礎概念を組み合わせ、日常生活に関わる問題など単元を横断した総合的な現象理解について、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。国公立個別入試で8割の得点率を取れるようになることを年間数値目標とする。</p> <p>【態】自然現象に対して主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。また自己が立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を行うことができる。</p>	<p>A 大学入試共通テスト対策の演習 生徒個々の志望校に即した個別学力検査対策の直前演習</p>	<p>A 単元名 総合 【知】個々の物理の基礎概念を理解し、力学・熱力学・電磁気学・波動力学の各単元の内容をグラフや式を用いて、定量的に捉えている。</p> <p>【思】物理の個々の基礎概念を組み合わせ、日常生活に関わる問題など単元を横断した総合的な現象理解について、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>【態】自然現象に対して主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。また自己が立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を行おうとしている。</p>

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。